

北見工業大学学報

第247号 (2011年9月号)

目 次

学位記授与式	平成23年度9月期学位記授与式を举行……………	2
入 試	大学院入学試験を実施……………	3
	平成24年度学生募集要項の公表……………	4
研 究 助 成	平成23年度共同研究の受入状況……………	6
	平成23年度受託研究の受入状況……………	6
	平成23年度奨学寄附金受入状況……………	6
	研究成果最適展開支援事業 A-STEP (FS ステージ・探索タイプ) 採択決定……………	6
人 事 諸 報	人事異動……………	7
	「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) 事業」を実施……………	8
	平成23年度国立大学法人等監事協議会北海道支部会を開催……………	9
	「おもしろ科学実験」を開催……………	10
	北見市教育委員会との連携協力に関する協定書調印式 及び銭谷東京国立博物館長による記念講演会……………	11
	平成23年度北見工業大学技術部技術員研修を実施……………	12
	「科学研究費補助金パワーアップセミナー」を開催……………	13
SVBL オープンラボ (研究報告会) を開催……………	14	
日 誌	8月・9月……………	15

= 学位記授与式 =

平成 23 年度 9 月期学位記授与式を挙行

(総務課)

平成 23 年度 9 月期学位記授与式が、9 月 9 日（金）午前 10 時から、本学第 2 会議室で行われました。

今回の授与式は、理事、副学長、事務局長、指導教員の他、修了生の関係者の方々も列席するなか、大学院工学研究科博士前

期課程・博士後期課程修了者に対し、鮎田耕一学長から学位記が授与され、一人ひとりにねぎらいの言葉がありました。

また、式終了後には記念撮影を行うなど、喜びを分かち合う姿が見られました。



鮎田学長（右）より学位記を授与される修了者の様子



修了者に祝辞を述べる学長

＝入試＝

大学院入学試験を実施

(入 試 課)

8月22日(月)～24日(水)、平成23年度秋季及び平成24年度大学院入学試験を実施しました。

課程別専攻別の合格者数等は、下表のとおりです。

平成23年度(秋季)博士前期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	若干人	1	1	1
電気電子工学専攻		0	0	0
情報システム工学専攻		0	0	0
化学システム工学専攻		0	0	0
機能材料工学専攻		0	0	0
土木開発工学専攻		0	0	0
合 計		1	1	1

平成23年度(秋季)博士後期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
生産基盤工学専攻	若干人	0	0	0
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻		1	1	1
医療工学専攻		4	4	4
合 計		5	5	5

平成24年度博士前期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	16	47	44	40
電気電子工学専攻	16	19	17	17
情報システム工学専攻	16	14	12	12
化学システム工学専攻	14	21	18	18
機能材料工学専攻	10	29	28	27
土木開発工学専攻	20	16	16	16
合 計	92	146	135	130

平成 24 年度博士後期課程

- ・ 願書受付期間：平成 24 年 1 月 16 日(月)～1 月 20 日(金)
- ・ 面接：平成 24 年 2 月 6 日(月) 午前 10 時～ (会場：北見工業大学)
- ・ 合格発表：平成 24 年 2 月 15 日(水) 午後 5 時(予定)

平成 24 年度学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成 24 年度北見工業大学学生募集要項（一般入試・特別入試）が公表されました。募集要項の主な内容は以下のとおりです。募集要項の配布は入試課窓口で行っております。

募集人員

系・学科名		入学 定員	募集人員			
			前期 日程	後期 日程	推薦 入試	帰国子女 特別入試
機械・社会環境系	機 械 工 学 科	160	70	50	40	各系とも 若干人
	社会環境工学科					
情報電気エレクトロニクス系	電 気 電 子 工 学 科	140	63	42	35	
	情報システム工学科					
バイオ環境・マテリアル系	バ イ オ 環 境 化 学 科	110	46	36	28	
	マテリアル工学科					
合 計		410	179	128	103	

入学後 1 年間は各系に所属し、2 年次進級時に本人の志望及び学業成績により系内の学科に移行します。

注意事項

後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別入試の募集人員若干人を含みます。推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

一般入試	特別入試（推薦入試・帰国子女特別入試）
<p>1. 募集人員 別表のとおり</p> <p>2. 願書受付期間 平成 24 年 1 月 23 日（月）～2 月 1 日（水）</p> <p>3. 個別学力試験の期日 前期日程：課さない 後期日程：平成 24 年 3 月 12 日（月）</p> <p>4. 合格者の発表 前期日程：平成 24 年 3 月 6 日（火） 後期日程：平成 24 年 3 月 20 日（火）</p> <p>5. 入学手続期間 前期日程：平成 24 年 3 月 7 日（水）～3 月 15 日（木） 後期日程：平成 24 年 3 月 21 日（水）～3 月 27 日（火）</p> <p>6. 追加合格通知期間 当初の合格者で入学定員に満たない場合は、平成 24 年 3 月 28 日（水）から合格者の追加を行います。</p>	<p>1. 募集人員 別表のとおり</p> <p>2. 願書受付期間 平成 23 年 11 月 1 日（火）～11 月 8 日（火）</p> <p>3. 選抜試験の期日 平成 23 年 12 月 2 日（金） （志願者が多数の場合は、3 日（土）に及ぶ場合もあります。）</p> <p>4. 合格者の発表 平成 23 年 12 月 14 日（水）</p> <p>5. 入学手続期間 平成 24 年 1 月 16 日（月）～1 月 20 日（金）</p>

個別学力検査日時・会場

期 日	教 科	時 間	会 場
平成 24 年 3 月 12 日(月)	数学	10：00～12：30	北見工業大学または 大阪会場（関西大学天六キャンパス）
	理科	14：00～15：30	

= 研究助成 =

平成23年度共同研究の受入状況

平成23年9月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民 間 機 関 等
機械工学科	准教授	山田 貴延	寒冷地域における総合バイオガスエネルギープラントの構築と性能予測	北海道ガス株式会社 技術開発研究所
機械工学科	教授	羽二生 博之	GPS誘導空撮機による航空測量のためのカメラ自動制御システムの開発	株式会社エクサ設計
社会環境工学科	教授	大島 俊之	建造物の維持管理と補修・補強効果に関する研究	有限会社アミューズ
電気電子工学科	教授	小原 伸哉	クリーンエネルギー利用可能性調査に係る研究	企業組合北見産学医協働センター
電気電子工学科	教授	田村 淳二	風力発電と連携した水電解システム制御技術の研究	株式会社日立製作所 中央研究所
地域共同研究センター	教授	有田 敏彦	送電設備の落氷対策技術に関する研究 (その7)	東京電力株式会社

平成23年度累計59件

平成23年度受託研究の受入状況

平成23年9月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費
					円
機械工学科	教授	大橋 鉄也	ヘテロナノ構造およびその集合体に生ずる変形挙動のメゾスケール結晶塑性解析	独立行政法人科学技術振興機構	10,530,000
機器分析センター	講師	大津 直史	スラリー埋没加熱処理を利用したジルコニウムへの骨結合性能の付与	独立行政法人科学技術振興機構	1,700,000
バイオ環境化学科	准教授	兼清 泰正	迅速かつ明瞭多彩な色調変化を示す糖検出チップの応答選択性向上	独立行政法人科学技術振興機構	1,700,000
社会環境工学科	教授	中山 恵介	超濁度水発生機構の解明と防止に向けた現地試験および現場での採泥分析を用いた土砂輸送に関する研究	網走開発建設部	2,091,000

平成23年度累計8件

平成23年度奨学寄附金受入状況

平成23年9月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額
					円
	学長	鮎田 耕一	学生に対する支援他	北見工業大学後援会	3,561,500
	学長	鮎田 耕一	学生に対する支援 (語学研修プログラム参加旅費助成)	北見工業大学後援会	700,000
社会環境工学科	教授	中山 恵介	新釧路川における塩水遡上に関する研究遂行のため	株式会社福田水文センター	400,000
	学長	鮎田 耕一	東日本大震災で被災した北見工業大学の学生を支援するため	北見ことぶき大学 学生自治会	212,095

平成23年度累計27件

研究成果最適展開支援事業A-STEP (FSステージ・探索タイプ) 採択決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額	受入れ方法
機器分析センター	講 師	大津 直史	スラリー埋没加熱処理を利用したジルコニウムへの骨結合性能の付与	1,700千円	受託研究
バイオ環境化学科	准教授	兼清 泰正	迅速かつ明瞭多彩な色調変化を示す糖検出チップの応答選択性向上	1,700千円	受託研究

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
23. 8. 1	(新規採用)	秋元 宏太	学生支援課事務職員
23. 9. 1	(新規採用)	安井 崇	工学部准教授

= 諸報 =

「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)事業」

を実施

(学生支援課)

8月1日(月)～2日(火)の2日間、北見柏陽高等学校から19名の高校生を迎え、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)事業を行いました。この事業は、独立行政法人科学技術振興機構の支援により実施するもので、本学では平成15年度からこの事業に採択され、地元の高校生を対象とした講義・実験などを行っています。

今回のテーマは「新エネルギー体験～燃料電池と太陽光発電～」で、バイオ環境化学科の岡崎文保准教授を講師に、初日は開講式の後、地球環境問題とエネル

ギーに関する講義や太陽エネルギー利用技術、温度差発電、振動発電等の体験実習を、2日目は燃料電池模型体験実験やFC(燃料電池)カートの試乗体験を行いました。期間中天気は良かったものの、実験中に太陽が雲に隠れてしまったため、太陽エネルギーを利用したソーラークッカーでホットケーキを焼くことはできませんでしたが、大学生・大学院生のサポートを受けながら実験やレポート作成に取り組み、討議・発表を行うなどエネルギーに対する理解を深め、充実した2日間となった様子でした。



↑ レポート作成の様子



↑ 燃料電池カート試乗



↑ 講義の様子



↑ 太陽エネルギー利用技術実習

平成 23 年度国立大学法人等監事協議会北海道支部会を開催

(企画広報課)

8月4日(木)本学を会場として、平成23年度国立大学法人等監事協議会北海道支部会が開催されました。当日は、道内7法人から監事11人が出席し、各法人における監事監査の状況について活発な意見交換が行われたほか、文部科学省高等教育局国立大学法人支援課寺門成真企画官から、国立大学法人等に係る最近の動向等について話題提供があり、熱心に聞き入っていました。

会議終了後には、本学が創立50周年記念事業として開設した展示スペース「KIT GALLERY」の見学が行われ、本学が企業と共同で開発し、スキーマーグル上村愛子選手らトッププレイヤーが使用したスキーブーツなど、特色ある研究に係る展示を興味深く見学していました。



講演を行う寺門企画官



KIT GALLERY を見学する出席者

「おもしろ科学実験」を開催

(企画広報課)

子供たちが実験やものづくりを通して科学への興味を高めてもらうことを目的として、平成12年から「おもしろ科学実験」を開催しています。平成23年度は8月6日(土)に開催し、各学科・技術部・ものづくりセンター・機器分析センター・オホーツク地域エネルギー環境研究会、さらに協賛企業の北海道電力(株)北見支店から合計24テーマが用意され、延べ544人の子供たちが参加しました。

全国的にも猛暑の今夏、北見市も30℃を超える日が8日間続きました。実験当日のこの日も最高気温30℃、降雨確率50%で湿

度が高かったため、会場は一時蒸し風呂状態で、熱中症などの心配もありましたが、大きなトラブルもなく全ての実験が無事終了しました。



↑ 開会式の様子



実験の様子

北見市教育委員会との連携協力に関する協定書調印式

及び銭谷東京国立博物館長による記念講演会

(総務課)

8月19日、北見市教育委員会との連携協力に関する協定書調印式を挙りました。

この協定は、高等教育と初等中等教育の連携協力により、大学と学校等との人的・知的交流を通じ教育上の諸課題に適切に対応するとともに、多角的に地域に根ざした学びを進め、北見市及び北見工業大学の教育の充実・発展に資することを目的とするものです。

また、この協定書の締結を記念して、銭谷眞美東京国立博物館長を招き記念講演会が開催されました。

「初等中等教育と高等教育の連携」と題して銭谷館長は、日本の子どもたちの

現状、教育基本法の改正内容や新学習指導要領の改訂ポイント、期待される教育や教師の力、大学の教育力、研究力、地域貢献力を初等中等教育に活かすことへの期待などについて、ユーモアを交えながら幅広い視点で講演されました。

この記念講演会では、北見市及び近隣の幼稚園、小学校、中学校の園長、校長、教頭、北見市教育委員会、企業、市役所、本学及び近隣大学の教職員など予定数以上の159人が熱心に聴講し、教育の現状や今後の展開に理解を深めるとともに、教育関係者に対する激励に大きな感銘を受けていました。



握手を交わす

佐藤北見市教育委員会教育長と鮎田学長



講演を行う銭谷館長

平成 23 年度 北見工業大学技術部技術員研修を実施

(技 術 部)

8月23日(火)、平成23年度北見工業大学技術部技術員研修を、本学総合研究棟多目的講義室を会場に実施しました。

この研修は、技術員の職務に関する必要な知識を広く習得させ、資質の向上を図ることを目的として毎年実施しており、本年度は技術員34名が受講しました。

研修は、加藤幹彦事務局長による「北見工業大学の組織運営」と題した講演に始まり、バイオ環境化学科新井博文准教授による「食品成分の機能性と疾病予防」、北海道大学工学系技術センター技術部斎藤清技術部長による「北海道大学工学系技術センター技術部紹介」と題した講演や、亀丸俊一技術部長及び大内均技術部室長から

「技術部の運営について」の報告をしていただき、これに対する質疑応答を行いました。さらに岡田包儀技術部室長によるIS014001教育訓練や、平成22年度総合技術研究会参加者による技術研究会参加報告も行われました。

また、この研修では技術員による日頃の業務内容・業務成果等についての技術発表も行われ、他分野技術員の知識・技能の一端を知ると共に、他の技術員の業務内容を知る良い機会になりました。この研修を受講して、広く職務に関連する知識を習得すると共に、技術員相互の技術交流を深めました。



鮎田耕一学長による開講式挨拶

「科学研究費補助金パワーアップセミナー」を開催

(研究協力課)

本学では8月30日、総合研究棟2階多目的講義室において「科学研究費補助金パワーアップセミナー」を開催しました。

今回のセミナーは、北見工業大学及び日本学術振興会の共同主催で、科学研究費補助金をはじめとする各種事業への申請者の意識の向上等を目的として実施しました。

日本学術振興会から学術システム研究センター副所長の村松岐夫氏、同主任研究員の原登志彦氏（北海道大学低温科学研究所教授）、同参与の宮嶋和男氏、同企画官の箕作康志氏が参加しました。

セミナーでは、村松副所長の挨拶の後、

原主任研究員から「科研費をはじめとする日本学術振興会事業について～学術システム研究センターの果たす役割～」、宮嶋参与から「科研費の今」と題して講演があり、科研費に関する最新の情報や傾向等について参加者は熱心に耳を傾けていました。

最後に吉田孝副学長の挨拶でセミナーは閉会しました。

今回のセミナーには本学を始め北海道内の北海道教育大学、帯広畜産大学、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、釧路公立大学、日本赤十字北海道看護大学から教職員が参加しました。



講演する原主任研究員（北海道大学教授）



講演する宮嶋参与

SVBL オープンラボ(研究報告会)を開催

(研究協力課)

9月14日(水)に総合研究棟2階多目的講義室においてSVBL オープンラボ(研究報告会)を開催しました。このオープンラボは、SVBLの活動内容や研究を広く理解してもらい、今後の活動に活かすことを目的に毎年開催しています。

今回は、「地域経済及び産業基盤を強化する基盤技術の開発」をテーマに開催され、SVBL長の羽二生博之教授の挨拶の後、研究報告会では、「抗ウイルス性を示す硫酸化糖鎖フィルターの開発」、「GPS誘導農地赤外線空撮機の開発と都市郊外GPS除雪支援システムの開発」など

6つの研究プロジェクトから研究内容について報告がありました。

また、ラボツアーではドライビングシミュレータやモーションキャプチャシステムなどの実演や体験を通して、先端技術を肌で感じていただきました。

今回のオープンラボには、本学の前晋爾、高松謹也両監事を始め、本学教職員・学生、一般市民、共同研究先企業、地方自治体などから約70人の参加があり、質疑も活発で実りある報告会となりました。



研究報告会の様子



ラボツアーの様子

= 日誌 =

8 月

- 1 日 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(～2日)、役員会
- 3 日 教育研究評議会
- 4 日 国立大学法人等監事協議会北海道支部会
- 6 日 おもしろ科学実験
- 8 日 教員免許状更新講習(～12日)
- 12 日 推薦入学者選抜実施委員会
- 17 日 パイオニア実践プログラム特別セミナー(～18日)
- 19 日 北見市教育委員会との協定書調印式及び記念講演会
- 22 日 平成23年度秋季・平成24年度大学院博士前期課程入学試験(～23日)
- 23 日 平成23年度北見工業大学技術部技術員研修
- 24 日 平成23年度秋季大学院博士後期課程入学試験
- 26 日 教務委員会
- 29 日 第4回発明審査委員会
- 30 日 科学研究費補助金パワーアップセミナー

9 月

- 1 日 知的財産研修
- 5 日 役員会
- 6 日 入学者選抜委員会
- 7 日 大学院博士前期・後期課程合格発表
教授会、研究科委員会
- 8 日 知的財産研修
- 9 日 大学院秋季入学手続(～16日)、学位記
授与式
- 12 日 役員会
- 14 日 SVBLオープンラボ、教育研究評議会
- 15 日 学長選考会議、役員会
- 20 日 第5回発明審査委員会
- 26 日 就職支援室会議
- 27 日 教務委員会
- 28 日 ピア・サポーター合宿研修(～29日)、
TAのFD研修
- 30 日 キャリア支援セミナー、就職ガイダンス

